

議会だより はこね

主な内容

- 7月臨時会、9月定例会 審議結果等…… P 2～3
- 一般質問…… P 4～7
- 決算特別委員会…… P 8～9
- 台風19号被害 あれから1年…… P 10
- 常任委員会報告…… P 11
- 我が家の自慢…… P 12



専決処分

○令和2年度箱根町一般会計補正予算(専決第3号) 総務企画観光常任委員会へ付託
補正額 4,815万円追加

箱根ファン創出事業(箱ぴたサンクスクーポン券)

※当事業の箱根温泉旅館ホテル協同組合が販売する、箱ぴたサンクスクーポンの販売システムに障害が発生し、過販売となったことに伴う補正予算の専決処分。

補正予算

令和2年度箱根町一般会計補正予算(第4号)

補正額 1億3,460万円追加

主な内容

- ①箱エールクーポン券事業…1億2,360万円
- ②過年度過誤納還付金…1,100万円

工事請負契約

○本庁舎空調と設備整備工事契約の一部変更 367万4,000円追加(設計内容変更)

議会議事案件(継続審査)

○箱根町議会議員の適正定数及び選挙時期に係る調査に関する決議について
※町議会議員の適正定数と選挙の実施時期について特別委員会を設置し、継続審査として付託されました。

補正予算

1. 令和2年度箱根町一般会計補正予算(第5号)

補正額 3億7,728万4,000円追加

主な内容

- ①地震等災害対策事業…971万1,000円
- ②財政調整基金積立金…3億9,292万2,000円
- ③高齢者サポート事業…250万円
- ④新型コロナウイルス感染症緊急対策事業他…衛生費 261万1,000円
- ⑤中小企業等感染症対策事業更正減…△1億2,800万円
- ⑥公用水路維持工事他…350万円
- ⑦新型コロナウイルス感染症緊急対策事業他…教育費 9,150万円

2. 令和2年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 1,001万5,000円追加

主な内容

後期高齢者医療広域連合納付金…1,001万5,000円

3. 令和2年度箱根町介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 3,570万9,000円追加

主な内容

第1号被保険者保険料還付金追加…3,570万9,000円

決算認定

○平成元年度箱根町一般会計及び9特別会計歳入歳出決算並びに2事業会計の剰余金処分及び決算の認定について

7月
臨時会

会期

7月29日

可決(2件)

補正予算
1件

工事請負契約
1件

9月
定例会

会期

8月27日から
9月23日まで

可決(3件)

補正予算
3件

認定(12件)

令和元年度
各会計決算
12件

同意(2件)

人事案件
2件

報告
1件

議会議事案件
2件

〈内訳〉

専決処分 1件
意見書の提出 1件

人事案件

- 教育委員の任命について（再任） 勝俣 正志さん
- 蛸川財産区管理委員の選任について 川井 美津久さん

報告

- 財政健全化判断比率等について

議会議事案件

付託案件

- 令和2年度一般会計補正予算（専決第3号） 関連記事はP11 総務企画観光常任委員会 報告へ
- ※8月6日、9月3日に総務企画観光常任委員会を開き、町当局の出席のもと、慎重に審査が行われました。審査の結果は全員賛成で、本会議の採決においても、全員賛成で承認となりました。
- 箱根町議会議員の適正定数及び選挙時期に係る調査に関する決議について
- ※町議会議員の適正定数と選挙の実施時期について特別委員会に7月臨時会で付託され、引き続き継続審査となりました。

意見書提出

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書の提出について
- ※長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況となることが予想されるため、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正にむけ地方税財源の確保を確実に実現するよう、関係行政庁の長に対し、意見書を提出することを決定しました。
- 提出先：衆議院・参議院両院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生大臣

9月議会 一般会計補正予算第5号の質疑抜粋

(地震等災害対策事業)

- ◎：地震対策事業の経費の明細
- △：新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営のための消耗品・備品・無線機通信費
- ◎：経費の内容及び数量
- △：①アクリル板15枚、テント2人用158張・5人用47張、②簡易ベッド446個、③ソーラーパネル15個、ポータブル電源15個、④IP無線機16機の購入を予定

議員別議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	勝俣公好	勝俣泰彦	川口延明	勝俣剛一	小川鶴雄	村野由紀子	川端祥介	山田成宣	稲葉親太郎	遠藤秀則	沖津弘幸	折橋尚道	石川栄
63	令和元年度箱根町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	令和元年度箱根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	令和元年度箱根町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	令和元年度箱根町温泉特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	令和元年度箱根町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	令和元年度箱根町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：賛成 ×：反対 -：議長は採決に参加しません。

9月定例会では、町政全般へ7人の議員が、11項目にわたる一般質問を行いました。

質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。

なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
川口 延明	・風水害時の避難所の考え方について ・新型コロナウイルスを受けて産業構造が変わる中での当町の観光について	4
川端 祥介	・箱根町第6次総合計画について ・箱根町のドローン活用について	5
村野由紀子	・山口町政について	6
遠藤 秀則	・町内での教育の現状について	
稲葉親太郎	・町の自然環境の状況について	7
山田 和江	・コロナ対策と町財政について ・ナラ枯れと防災について ・コロナ禍における学校教育の充実について	
沖津 弘幸	・新しい生活様式に対応した、安心で快適な観光地について	

※ **Q** は議員の質問、 **A** は町側の回答です。



避難所としてホテル、旅館の広間利用の契約を

町 — 風水害時でも利用ができるよう検討する

A 町長 町でも段ボールベッドや間仕切り用パーティション、段ボールトイレの供給協定を締結した。協定の内容は、災害時に町が注文

Q 避難所の環境面の配慮と設備向上を。

A 町長 高齢者等の要援護者に生活環境の良い避難所を提供できるようにすること。また、「災害時における避難所等確保の支援に関する協定」を神奈川県とホテル・旅館組合が締結したことを受け、町でも箱根温泉旅館ホテル協同組合との協定締結を協議中であり、今後、状況によつては、通常の風水害でも町内の旅館やホテルの一室を避難所として利用できる環境の構築について検討してまいりたいと考えている。

Q 避難者の安全確保と快適な避難生活ができるようホテルや旅館の広間を利用するなど、官民が連携した避難所設置への対応を。



コロナ対応避難所

A 総務防災課長 避難所に行くべき人が避難しない状況になっているのであれば、議員指摘のように、生の声を正しく認識して防災対策に取り組んでいく。自治会長会議などを通じて町民の意見を聞くように検討していく。

Q 避難所が開設されても避難者が少なすぎる。町民が行動を起こしやすい対応と検証を。

A 町長 避難所が開設された数量の段ボールベッドなどを速やかに製造し町の指定場所まで事業者が輸送する体制となっている。これらは避難所の生活環境改善につながると思われる。



川口 延明 議員

箱根町第6次総合計画の財源確保と円滑な実施は

町 — 歳入確保に努力する



川端 祥介 議員

Q 第6次総合計画の実施計画については、令和3・4年度も引き続き財政の厳しい中においてどのように財源の確保を図っていられるのか。

A 町長 国・県に対してこの窮状をしつかり訴えて、できうる限りの歳入確保に努力してまいりたいと考えている。

Q 神奈川県が先行してドローン前提社会の構築を目指し、企業や大学からドローンの利活用について提案募集を行い、採用後実験等を行っている。箱根町のドローン利用・活用について、将来どのように考えているか。

A 町長 現在、消防において、ドローン操縦士養成計画を策定し、実技操縦訓練を開始している。地震等災害対応機材として災害用ドローンを購入した。本町に適した、ドローン物流定期ルートや、観光イベントの活用、箱根ジオサイト空撮等を事業者と連携して行っている。

今後は、他の市町村の活用事例や、企業の先行事例を参考にして、調査・検討していきたいと考えている。

山口町政、20年間の思い

町 — 皆さんへの感謝の思いを20年間に総括して強く感じている



村野由紀子 議員

Q 第6次総合計画の人口推計では、6年後は1万人まで減少すると想定されている。人口増に関する今後の展開は。

A 企画課長 コロナ禍で見られる働き方の多様化は、地方にとつてプラスに働く面がある。新たな環境の変化によるニーズを把握し、受け皿となれるような移住・定住化施策を地道に継続する。いつまでも箱根に住んで頂けるよう、暮らしている方のニーズに応えていく。

Q 町長は在任中「住みよりに取り組んで来られた。公約の達成度と満足度はいかがか。

A 町長 行政運営に携わってきた中で、小・中学校適正配置、乳幼児施設整備も出来た。観光面では、観光

客2千万人の堅持、宿泊客5百万人は、おおむね達成出来たと思う。皆さんに合格点が辛うじて頂けるようであるならばありがたい。ただ、寮保養所撤退と人口減が止められなかったことは残念に思っている。

Q 次期町長に望むこと、箱根町に期待することは。

A 町長 行政に課せられた究極の目標は、住民福祉の向上、これに尽きる。ウィズコロナという中で、箱根の持つ豊かな自然・温泉は、ストレスを無くし英気を養う。そう言う点において、ますます重要な箱根になると思う。人間性回復、五感を感じる居心地の良い観光地箱根を指すと共に、外国人が安心してひとり歩きできる観光地箱根を創ってほしい。



町内での教育の現状は

町 — 長期の臨時休校となったなかで、多くの課題に前向きに対処していく



遠藤 秀則 議員

Q 臨時休校による授業日数の不足となる問題はなにか。

A 教育長 行事や夏・冬休みを短縮しても28日不足となり、学習の遅れを取り戻す様々な内容を工夫して取り組んでいく。

Q 報道等によると教師への負担が増大し、肉体的、精神的に大きな負担となっているとあるが、当町での状況は。

A 教育長 感染防止の観点から、教職員の負担は増えていたと思う。各校の教職員には、感染防止を第一に、尽力いただき感謝し、今のところ調子を崩した教職員はなく、安堵している。今後の負担軽減を進め、心身のケアに取り組んでいく。

Q 児童・生徒また同居家族が感染した場合の対応は。

A 教育長 児童・生徒、家族の感染が判明した場合

は、保健所等の指示に従い、安全を第一に適切に対応する。

Q 温暖化の進む中、暑い日が続くと授業に集中できず、さらには、熱中症にならないか気掛かりである。箱根の森小学校、仙石原小学校の教室へのエアコン設置をどう考えているか。

A 町長 9月に国内で初めて40℃を観測、温暖化は着実に進んでいる。快適な環境で、子供たちに授業を受けさせたい。教育委員会に、来年度最優先で設置するように指示する。



町の自然環境の状況は

町 — 長期的な視点から温暖化の進行を抑えることが重要である



稲葉親太郎 議員

Q 今の火山事象の状況は。

A 町長 箱根山の火山活動を観測している様々な機関や専門家の最近の発表によると、総じて箱根山の火山活動は落ち着いている。

Q 県道734号線（小涌園〜早雲山）が交通規制された理由と対応は。

A 町長 梅雨で天候不良が続いた上、比較的強い雨が繰り返して降った。所管する神奈川県小田原土木センターから、早雲山の地滑り観測装置が、基準を超える土砂の移動を確認し、県道への土砂流出の恐れがあることから、通行者の安全を確保するため通行止めとした。

Q 地球規模での温暖化が叫ばれている中、箱根に生存している動植物の生息に変化が生じているか、また、その対応は。

A 町長 箱根の動植物の生息の変化について、ヒメ

アマツバメという鳥は、かつて西日本の海沿いに分布していたが、1990年代以降は役場本庁舎でも営巣するようになり、クロコノマチヨウという蝶は1990年代に小田原エリアでの越冬が確認されている。一方、植生に対する顕著な影響は特に確認されていない。

町としては、地球温暖化の影響による動植物の生息動向の把握や必要な対応について、関係する機関と情報を共有しながら十分に連携していく。



早雲山

集団的ナラ枯れの崩落等の対策は

町 — 森林所有者と連携し、治山事業の要請を行う



山田 和江 議員

Q 長い梅雨が明けた途端、箱根の山々に異変が起きています。ナラ、コナラの木等の「ナラ枯れ」があつたという間に全山に広まってしまった。ナラ枯れが進むと生態系への影響や土砂崩落が起こるといわれている。また、道路沿いのナラ枯れの木が倒れる危険も考えられるが、ナラ枯れの現状をどのように把握しているか。

A 町長 被害状況は町民から随時情報が寄せられている。ナラ枯れの進行ピークは8月下旬になるので、町として9月から10月にかけて被害の全容把握に努める。

Q ナラ枯れに対する調査や補助金等について、国や県への働きかけはどのようなか。

A 町長 国・県からの支援は十分とはいえないので、

防除対策を積極的にしている市町村に補助金の増額の支援と国・県道沿いの被害木に対応を図ること、健全木を守るための補助支援の要望を行った。

Q 集団的ナラ枯れの場所に対する崩落等の対策は。

A 町長 危険性がある場合は森林所有者と連携し、地形、規模、人的被害の影響を考慮して治山事業等の要請を行う。

Q 昨年は仙石原の別荘で熊の姿が目撃された。生態系への影響をどう考えているか。

A 町長 ナラ枯れはドングリの凶作などで鳥獣等への影響も指摘されているが、長期的には特に生態系への心配はない。



ナラ枯れ

仙石原地域の発展と、町内経済の回復策としての土地活用のための用途緩和を

町 — 地域経済の活性化に繋がれば、変更について検討することも考える



沖津 弘幸 議員

Q 仙石原地域まちづくりについては、既存の美術館や博物館、ホテル、別荘が立地している魅力をさらに充実し、町外からの移入を誘導するための条件整備を推進しなければならぬ。地域の発展と、町内経済の回復策としての土地活用のための用途緩和は。

A 町長 「仙石原交差点周辺まちづくりのテーマ」が昨年9月に決定され、これらの動きが加速していくことによつて、仙石原地域に一層多くの人々が集い、箱根の新たな魅力を創出・発信する「ハブ」となり、地域経済の活性化に繋がっていくことになれば、用途地域の変更について検討する可能性が生じてくることもありうる。

Q 財源確保策として、湿生花園の管理運営の見直し。

A 町長 台風19号による被災に続き新型コロナウイルス禍にあるなどの状況を踏まえ、直営の継続あるいは指定管理者制度の導入とするのか。見直しの判断時期は、令和3年度中を目途に考える。

Q 大涌谷へのアクセスについて新たに下り専用道路の整備は。

A 町長 現時点においては、困難なものと考えますが、協議を行い、その状況により国も検討するという回答を得た。県に対しては、防災面の利点、駐車台数の拡大、大涌谷園地の安全対策、活性化につながる対応を様々な視点から調整を図っていく。



仙石原交差点周辺

特別委員会

評価したり、今後の行財政運営の改善に役立つ大切な意義があります。

当特別委員会は、4日間にわたり会議を開き、慎重に審査を行いました。

歳入は、大涌谷噴火レベル上昇や台風被害の影響により町民・法人税は減少となりましたが、全体的に固定資産税超過課税継続による収入とふるさと納税収入増があり一定の収入確保ができました。

歳出は、町の基本理念である「防災力強化・若者定住の促進・健康生活の推進・ブランド力の強化」が各事業に反映され着実に実行されたものと評価します。よって令和元年度決算については、すべて認定すべきものと決定いたしました。

しかし、一般会計の経常収支比率は、2.5ポイント上昇の96.2%であること、また施設改修等の起債による毎年の償還金が増えることを鑑みると町財政の硬直化を認めざるを得ません。今後も行財政改革アクションプランの着実な遂行、行政運営の選択と集中に心掛けていただくことを申し添えます。

決算特別委員会
委員長 折橋尚道



決算特別委員会の様子

審査のチェックポイント

歳入編

- ◇町税等の収入の状況確認
- ◇補助金の確保の動向
- ◇町債等の動向
- ◇その他の収入動向

歳出編

- ◇支出の適法適正の動向
- ◇不要額の妥当性
- ◇予算流用の適正状況
- ◇予備費の充当の適正度
- ◇補助金の効果
- ◇その他留意事項について
- ◇主な施策の成果の活用
- ◇財産に関する調書明細書の活用
- ◇基金の運用状況の審査
- ◇財産運用の適否の判断
- ◇仕事の出来高と出来具合の審査



令和元年度予算は
コチラ

決算認定までの流れ

決算とは予算執行の結果、どのような成果があったかを示す成果報告で、会計年度が終わってから、時間をかけて慎重に審査を行います。

令和2年3月31日
会計年度終了



令和2年5月31日
出納整理期間終了

- ・会計管理者が町長に決算を提出
- ・監査委員が決算審査し、町長に意見書を提出

※監査は小嶋税理士、小川議員が厳正に行いました。



令和2年
9月定例会

町長が監査委員の意見書を添えて議会に上程



決算特別委員会での審査
(質疑)

開催日 9月14、15、17日
審議時間 午前10時～午後5時



定例会で討論を行い
各会計ごとに採決



全員賛成または賛成
多数で認定

※3ページ、議員別議案賛否をご覧ください。



決算特別委員会の様子

令和元年度 決算

決定した予算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を

ここに注目!! 具体的な審査内容



決算の概要は、町広報紙11月号に掲載しています。

歳入編

- 固定資産税
 - ・土地、家屋、償却資産それぞれの納税義務者の町外者、町内者の割合
- 総務費県補助金
 - ・市町村地域防災力強化事業費の県からの補助内容
- 町民税
 - ・不納欠損（徴収を諦めること）の内容と要因
 - ・徴収状況と収納率向上対策について
- 子ども・子育て臨時交付金の使途
- 入湯税
 - ・当初予算より減っている要因及び今後の対応
- 国民健康保険の保険料
- 下水道接続率の向上
- 国際観光ホテル整備法による固定資産税の軽減措置の現況と今後について

歳出編

- 有害鳥獣対策事業
 - ・イノシシ・鹿等が増えているが今後の対応
- 防災行政無線整備事業
 - ・防災無線をデジタル化した成果
- ハイキングコース等整備事業
 - ・台風19号で荒廃したハイキングコースの状況
- ICT活用教育推進事業
 - ・タブレット等を使用した教育の状況
- 携帯型外国語翻訳機導入促進補助事業
 - ・ホテル・旅館に導入した翻訳機の効果
- 認知症施策推進との効果と現状の課題
- 介護サービスについて
- 下水道維持管理について

討 論 決算認定に対しての、賛成・反対討論

賛成 至誠会

令和元年度は、種々多様な災禍があり、観光客の減少により、町税収入は減少になった。しかし、箱根を愛するファンにより、ふるさと納税等は約10億円になった。全体の歳入から歳出を引くと黒字を確保することができた。今後も、公共施設改修等の記載が見込まれており、財政の硬直化は避けられない状態にある。財政状況の変化については、日々検証を行い、報告、協議を活発にすることを要望し、賛成討論とする。

賛成 緑風クラブ

入込客数も順調に推移し、国際観光地として更なる飛躍が期待された中、5月の噴火警戒レベルの引き上げ、10月の台風、年明けのコロナ感染症に襲われ、厳しい状況下での予算執行は評価できる。町税等の減少は、ふるさと納税の増によって黒字となっているが、安定した財政運営とは言えない。特別会計等では国民健康保険、公共上下水道、育英奨学金事業等目的に沿った運営がされている。
今後も住民サービス向上と健全な財政運営の取り組みを望む。

賛成 公明党

令和元年度上半期は、大涌谷の噴火警戒レベル引き上げによる立ち入り規制が、観光全般に多大な打撃を与え、また、10月には台風19号が襲来し、甚大な被害をもたらした。主な政策は、防災士の養成、関所開設400年観覧行事の開催、SDGsの発信、子育て世代包括支援センターの設置、ICT教育の充実等、総合的に住民の生活の安定、福祉の向上に寄与されたと思慮する。
コロナ禍で、これまで以上の緊張感と警戒心を持って職務にあたって頂きたい。

反対 山田 和江 議員

大涌谷の噴火警戒レベルの引き上げや、台風19号の襲来、消費税10%への引き上げ、そして新型コロナウイルス感染症の影響を受け、暮らしと営業が打撃を受けた中、固定資産税の超過課税が実施され、納税者に重い負担となっていること。また、国際観光ホテル整備法による固定資産税の不均一課税が政府登録旅館にのみ行われていることは、税の公正、公平という点から認められない。箱根の森・仙石原両小学校の学校給食民間委託についても認められない。

台風19号被害 あれから1年

気象庁によると、箱根町では12日の降水量が922.5ミリに達して国内最高記録を更新、また、48時間降水量が1001.0ミリ、年平均値の3～4割に達し、史上最高記録を更新した。



登山電車は、予定より3か月早く復旧現在の工事風景（右写真）、完全復旧は年内を予定

僕の身長より、降ったなんて、信じられない。これからも災害の安全対策は大切だね。



令和2年10月6日撮影



国道138号線は洞門を設置する工法で、令和3年度中の復旧が予定されています。

また、南足柄市までの南箱道路は、令和3年春頃の開通が予定されています。



令和元年10月13日の様子



(左) 国道138号線土砂災害現場
(上) 南箱道路入り口
令和2年10月6日現在



当時の湯本大橋の増水

自然災害に関する議会での議論 今後の安全対策はどうなる!?

全会一致で、令和元年12月20日に「芦ノ湖の水位の弾力的運用による町民の安全対策確保」に関する要望書を神奈川県知事に提出しました。

議会でこんな内容が議論されました（抜粋）

【住民・事業者等緊急支援対策】

- ・土砂崩れ等による被災者の救済
- ・住民の浸水家屋への支援
- ・中小企業等災害復旧支援事業補助金の早期支給

【交通インフラ対策】

- ・国道138号線早期復旧
- ・足柄幹線林道の復旧
- ・南箱道路の状況確認と開通の見通し
- ・災害で傷んだ地域内道路の改修

【安全対策】

- ・避難をためらう住民に対し、安全に避難所へ誘導を促す対策
- ・避難所の段ボールベッドの導入
- ・逃げ道マップの作製による安全な避難の推進
- ・自治会・自主防災組織・消防団などとの地域防災力の強化

【芦ノ湖や河川の安全対策】

- ・台風予報に準じた芦ノ湖事前放流の見直し
- ・根本的な芦ノ湖の治水対策
- ・箱根町内河川の砂防ダム・堰堤の修復
- ・浸水防止のための土嚢確保

総務企画観光常任委員会 報告

委員会では、7月臨時会において付託され、継続審査となっていた議案第56号について、8月6日及び9月3日に委員会を開催し、町当局の出席を求め、慎重に審査を行いました。

本議案は、箱根ファン創出事業における箱根温泉旅館ホテル協同組合が販売する、箱ぴたサンクスクーポンの販売システムに障害が発生し、過販売となったことに伴う補正予算の専決処分です。

新型コロナウイルスの影響が町内の宿泊業等に打撃を与えている中、疲弊した宿泊業を含めた町内に活気を取り戻すため、かつ過販売による箱根のイメージダウンを避けることについて、一定の理解ができることから、採決の結果、全会一致により承認すべきものと決定いたしました。

しかしながら、過去に前例のないこのような専決処分が行われたことについては遺憾であり、今後、専決処分を行う際は十分慎重に考慮いただきたい。また、箱根温泉旅館ホテル協同組合に加入している宿泊事業者に限らず、町内の宿泊事業者全般に公平な事業とされたい。さらには、再発防止の徹底を図り、今回の件については責任の所在を明確にすることを強く求めました。



委員長 稲葉 親太郎

教育福祉環境常任委員会 報告

小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策の対応等について、委員から多くの質問や意見がありましたので、7月1日、教育委員会に質問の回答を依頼しました。

登下校時のスクールバス、借上げバス、タクシーを活用した感染対策、乗車率や感染リスク、バスの換気設備の説明等、回答がありました。

また、他の調査・研究の項目に上がっていた、1. 廃棄物保管施設の現状及び当該施設等の今年度予算、2. ドローンを利用した県イノシシ駆除計画、3. プラごみゼロ宣言の現状及び今後の計画を、7月30日に環境課へ同様に依頼しました。

プラごみゼロ宣言では、マイバック使用の啓発、プラスチックごみによる海洋汚染抑制・防止の取組等、プラごみゼロに向けて県と協同で進める。と回答がありました。

今後は、回答を参考に調査・研究を行い、新たな課題にも取組んで参ります。



委員長 村野 由紀子

山口昇士町長 20年間お疲れ様でした



9月定例会閉会後に町長と記念撮影を行いました。
※山口町長の任期は令和2年11月14日までです。



ポメラニアン
チョコくん(7歳)

我が家の自慢

湖畔の散歩が毎日の日課です。
朝夕に、地域を回って皆さんにごあいさつが楽しみです。

箱根地区 飯田さん

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送またはEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載) web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

広報広聴委員会
委員長 川口 延明
副委員長 勝保 泰彦
委員 勝保 剛一
委員 村野由紀子
委員 稲葉親太郎
委員 折橋 尚道

12月定例会の日程(予定)

本会議 12月1日(火)、15日(火)、18日(金)

※11月24日(火)開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。